

目 次
〔ロシア語科〕 〔ロシア地域学科〕
1年

前・後期

实用ロシア語会話（イリイナ・タチアナ）	P1
实用ロシア語文法（デルカーチ・フョードル）	P2-3
ロシア語演習（イリイナ・タチアナ）	P4
英語（鳥飼やよい）	P5
ロシア民族学（グラチェンコフ・アンドレイ）	P6-7
ロシア文化史（デルカーチ・フョードル）	P8-9
日ロ関係史（倉田有佳）	P10-11
体育（高橋厚一）	P12

前期

ロシア地理（グラチェンコフ・アンドレイ）	P13
ロシア語コンピュータ環境入門（デルカーチ・フョードル）	P14
法学入門（荒木知恵）	P15
ゼミナール／貿易実務（高月晋）	P16

後期

ロシア語講読（鳥飼 やよい）	P17
論文作成（倉田 有佳）	P18

教科名	実用ロシア語会話（前・後期）	
学年・学科名	第1学年 ロシア地域学科 ロシア語科	【担当教員】 イリイナ・タチアナ
時間数・期間	前期16週8時間・128時間 後期20週4時間・80時間 総208時間	
教科書など	ロシア語の新しい習い方 第1部（ズラトウスト）書き方練習帳 実用ロシア語発音教本	
補助教材・参考書など	ビデオ教材	
学習到達目標：	文字を覚える。テキストの内容を理解できる、これについて話ができる。	
学習上の留意点：授業は全てロシア語で行うが最初は英単語に似たなじみのある語彙を多用して授業を進めるので、ロシア語で授業を行うことに関して心配はない。		
評価方法：テキストの暗記とテスト。試験、小テストの結果と出席率、授業態度、提出物等すべての項目を評価に含んだ総合評価形式とする。		
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1	ガイダンス。	
2～11	文字。実用ロシア語発音教本。書き方練習帳。文字をおぼえる。発音の練習。	
12～14	第1課 テキスト《家に》。テキストの内容理解し会話を設ける。	
15～18	第2課 テキスト《まもなく夕食です》。夕食について語る。テキストに関する会話を設ける。疑問文。	
19～26	第3課 テキスト《教室》。教室について語る。否定文。	
29～40	第4課 テキスト《新聞と雑誌》。《私の家族》。テキストについて語る。形容詞と名詞の複数形の練習。	
41-62	第5課 テキスト《授業中》。《町の広場》。《家族の写真》。テキストに関する会話を設ける。動詞の過去形。	
63-64	まとめ、テスト	
後期		
	内 容	
1～21	第6課 テキスト 《アントノフ家について》。《アンドレイと彼の家族》。自分の家族について話す。非定形。	
22～57	第7課 テキスト《私と私の家族》。《偉大なる海、聖なるバイカル湖》。テキストに関する会話を設ける。	
58～80	第8課 テキスト《私の同僚が本を集めた方法》。《彼らの生活についてもう少し》。《クセニヤさんと彼女の友達》 テキストに関する会話を設ける。 会話《電話での話し方》。《本屋で》。《キオスクで》。	

教科名	実用ロシア語文法（前・後期）	
学年・学科名	第1学年 ロシア地域学科 ロシア語科	【担当教員】 デルカーチ・フョードル
時間数・期間	前期16週8時間・128時間 後期20週8時間・160時間 総288時間	
教科書など	F・デルカーチ「一歩いっぽ文法・ゆっくり学ぶロシア語」(2012年)	
補助教材・参考書など	必要に応じて資料を配布	
学習到達目標：	初級文法の規則とロシア語のパターンを習得し、語彙を増やし、ロシア語学習の基礎を作る。	
<p>学習上の留意点：キリル文字の「読み」「書き」を早い時期に完全に習得する。 基礎の習得のために復習をする。 補助教材を用い文法強化を図る。 一般的な文法概念と露語特有の文法用語を学ぶ。 露和・和露辞書を利用する。</p>		
評価方法：テストと期末試験の他に提出課題の結果から判定する。		
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1	ガイダンス	
2～12	ロシア語文字の読み方、日本語とロシア語の発音の違いと共通点。ロシア語アルファベットを思える。	
13～24	品詞の区分と疑問詞。「活動体」と「非活動体」。文法的な「性別」。「これは…」「はい・いいえ」。男性名詞、女性名詞・中性名詞。「…と…」、「…ない」と「…ではない」、「私・あなた」「こんにちは」「彼ら」。「と」と「も」。「これは」と「あれは」。「…か…」と「…あるいは…」、「これは何ですか?」と「こちらは誰ですか?」。職業を言う。「これはAで、あれはBです」。	
25～38	母音の変化。複数形を作る。氏名のつくり。文字の合わせ方。民族と国籍を言う。複数形の例外。まとめ、テスト	
39～42	単語の仕組み「語根・接頭辞・接尾辞・語尾」。形容詞の仕組み。テキストの露訳・和訳	
43～60	【人称代名詞】ロシア語で「こ…」「そ…」「あ…」。所有代名詞。自己紹介、「どうぞ・ありがとう・どういたしまして」、「だって、…だもの」。「…と同じく」、「…のように」。	
61～80	格変化とその役割。人称代名詞の格変化の作り方と使い方。まとめ。テスト	
81～90	【前置格】場所を言う。位置を表す動詞。名詞、形容詞の前置格（単数形・複数形）。文書を読んで、分析する。名詞の変化法。まとめ、テスト。	
90～120	【動詞】動詞の不定形と過去形。最も利用される動詞を覚える。動詞に目的語を付けてみる。動詞の変化法。動詞の現在形。子音転換。「欲しい」と「したい」。二重動詞文型。命令形。まとめ、テスト。	
120～128	予備、まとめ、テスト	

授 業 項 目

後期	
回	内 容
1～6	前期の復習、テスト
7～40	【数と計算】個数、年数、番号など。1から1000まで数える。月と日付。
41～80	【生格】所有形と関連付け。「…から」。数量と生格。時間を言う。「…のために」。否定生格。文書、会話。テスト。
81～120	【未来形と比較級】「…していく」、「…するようになる」、「…するつもり」。「…より高い、…より強い」。文書、会話。テスト。
121～160	【対格】男性と中性の対格形。対格とよく利用される動詞。曜日、期間、時点と予定時間を言う。テキスト、会話。まとめ、テスト。

教科名	ロシア語演習（前・後期）	
学年・学科名	第1学年 ロシア地域学科 ロシア語科	【担当教員】 イリイナ・タチアナ
時間数・期間	前期16週2時間・32時間 後期20週2時間・40時間 総72時間	
教科書など	ロシア語の新しい習い方 第1部（ズラトウスト）、ビデオ教材 «Чудо-мальш» для начинающих.	
補助教材・参考書など	Ильина Татьяна. Словарь к аудио-курсу «Чудо-мальш» для начинающих. Хакодате, 2016 г.	
学習到達目標：	教科書の内容に添ったテープやビデオ教材の聞き取りにより授業を進める。ロシア語の音に体全体で慣れ、理論的にも理解できる事を目標とする。	

学習上の留意点：演習には集中して臨むこと。新しい語彙・文法は確実に覚えてから演習に入ること。

評価方法：試験、小テストの結果と出席率、授業態度、提出物等すべての項目を評価に含んだ総合評価形式とする。

授 業 項 目

前期

回	内 容
1～6	ロシア語のアルファベットの練習
6～10	ビデオ：僕の新しいおもちゃ、練習
11～14	ビデオ：色の世界、練習
15～16	復習、小テスト

後期

回	内 容
1～4	ビデオ：僕の朝ごはん、練習
5～7	ビデオ：チョコレートケーキ、練習
8～10	ビデオ：スーパーで、練習
11～14	ビデオ：お医者さんごっこをする、練習
15～18	ビデオ：動物園で、練習
19～20	復習、小テスト

教科名	英語(前・後期)	
学年・学科名	第1学年 ロシア地域学科 ロシア語科	【担当教員】鳥飼 やよい
時間数・期間	前期16週4時間・64時間 後期20週4時間・80時間 総144時間	
教科書など	MISSING PERSON A RADIO PLAY LONGMAN INTERMEDIATE LISTENING SERIES BOOK 1 KAREN HUNTER ANDERSON	
補助教材・参考書など	MISSING PERSON 付属 CD	
学習到達目標:	外国語学習において Input 無しに Output はない。つまり、聞けない人は話せない、読まない人は書けないということである。また学習のある段階においては、コントロールされたテキストの反復学習が好ましい。これらの前提を踏まえ、英語のドラマを精聴し日常的に話される自然な英語を聞き取り、その書き取りを行うことで、学生は自然な英語の発音、抑揚を習得すると同時に、基礎的な文法や構文や口語表現を理解し学ぶ。	
学習上の留意点: 予習と復習は必ずすること。授業の前には必ず課題のリスニングを行い、ディクテーションをし結果を持ち寄る。授業の後では、英文と翻訳の清書を提出すること。		
評価方法: 宿題 10%、出席 10%、各レッスン後のテスト 60%、学期末試験 20% 5 (90-100%)、4 (80-90%)、3 (70-80%)、不合格 (-69%)		
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1	イントロダクション	
2-6	レッスン 1 «AT THE AIRPORT»	
7	レッスン 1 テスト	
8-12	レッスン 2 «THE OREGON HOTEL»	
13	レッスン 2 テスト	
14-18	レッスン 3 «DINNER TIME»	
19	レッスン 3 テスト	
20-24	レッスン 4 «AN INTRUDER»	
25	レッスン 4 テスト	
26-30	レッスン 5 «THE PLANS»	
31	レッスン 5 テスト	
32	全課オーラルテスト	
後期		
1-5	レッスン 6 «ACME»	
6	レッスン 6 テスト	
7-11	レッスン 7 «THE PICKUP»	
12	レッスン 7 テスト	
13-17	レッスン 8 «A WILD CHASE2	
18	レッスン 8 テスト	
19-23	レッスン 9 «BACK AT THE HOTEL»	
24	レッスン 9 テスト	
25-29	レッスン 10 «THE GANG»	
30	レッスン 10 テスト	
31-34	レッスン 11 «INSIDE THE HOUSE»	
35	レッスン 11 テスト	
36-39	レッスン 12 «CLOSING THE CASE»	
40	後期テスト	

教科名	ロシア民族学(前・後期)	
学年・学科名	第1学年 ロシア地域学科 ロシア語科	【担当教員】 グラチェンコフ・アンドレイ
時間数・期間	前期16週 2時間・32時間 後期20週 2時間・40時間 総72時間	
教科書など	なし	
補助教材・参考書など	配布プリントあり。その他にパワーポイントを使用。	
学習到達目標：	授業ではロシアの民族文化に焦点をあてその文化の独特とヨーロッパ共通性を分析するとともに風土、生活、生産様式、言語、風俗習慣等を知ることを通して、ロシアの文化の基層的な類似性と独自性を明らかにする。	
<p>学習上の留意点：授業は特定の教科書を使用せずに講義方式で進める。理解を助けるために板書とパワーポイントを多く用いるので、ノートを取ることが重要である。各項目の終了毎に重要事項と語彙をまとめたプリントを配布する。質問は授業中でも授業後でも受け付けるので、授業への積極的な参加を期待する。</p> <p>評価方法：学期末に行う筆記試験の結果と出席状況を総合して評価する。試験では自作ノートと配布プリントの持ち込みを可とする。日頃の講義を真面目に受けていれば不合格を心配する必要はない。</p>		
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1	イントロダクション：民俗学・民族学とは何か	
2～6	民族服装 1：衣服の起原、繊維の材料、機織のタイプ、織物の種類 2：衣服の種類 內衣・外衣 ルバハ、スカート、ズボン 3：被り物；子と髪の毛 4：履物；編んだ靴と革靴 5：甲冑、鎖カタビラとヘルメット	
7～11	民家 1：文化・宗教・風土と民家の関係 2：民家のタイプ：屋根型・材料種 3：母屋と納屋、蔵、牛小屋 4：暖炉制度と燃料、灯りと蠟燭、灯油と灯油ランプ 5：風呂の特色、水と井戸	
12～15	食文化 1：食習慣：文化・宗教・風土と断食の関係 2：肉食と魚食、穀物種とパン焼 3：料理法と食料品保存 4：飲料；ミルクとお茶、クワス、ビールと蜂蜜酒、ウオトカとワイン	
16	まとめ	

後期	
回	内 容
1～4	伝統的生産 1：肥料を施し畑を耕す、種蒔と穀物種、収穫を刈る、脱穀、穀物保存 2：鍛冶屋と農業道具 3：家畜を飼う、蜜蜂を飼う 4：漁業と狩猟
5～6	運搬具 1：馬車、馬轎、荷車 2：筏、舟、帆船
7～9	商い 1：朝市と定期市場 2：店、売店、荒物屋と屑屋 3：貨幣と数量単位、銅銭、銀銭、金銭
10～13	人生儀礼 1：出産と子供保育 2：死と葬式と墓 3：結婚の形態 結婚と宗教 4：結婚年齢と結婚式
14～15	農村社会と家族 1：大家族；家族関係と相続方式 2：年齢集団と若者組
16～20	年中行事 1：時間と暦 2：お正月 3：クリスマス祭、火祭りと復活祭 4：多産と豊穰の祭

教科名	ロシア文化史（前・後期）	
学年・学科名	第1学年 ロシア地域学科 ロシア語科	【担当教員】 デルカーチ・フォードル
時間数・期間	前期16週2時間・32時間	後期20週2時間・40時間 総72時間
教科書など	教科書：F・デルカーチ「中世ロシア文化史」、函館、2009	
補助教材 参考書など	随時配分プリント、スライド、ビデオ教材	
学習到達目標：ロシア文化（特にロシアの伝統、宗教、思想と芸術）に関する総理解をも学生に与える 他、文化学の基本思想および用語の知識を与える。現代ロシアの国民性、言語、経済状況などの文化的な 背景を理解できる。		
学習上の留意点：ロシア文化の主要な特徴、その発展の時代区分、ロシア文化史における主要出来事と人 物を覚える。ロシア芸術の代表作、その内容と創造背景の知識を持つ。 「文化」と「文明」の違い、文化形態、文化の機能、文化の主体と客体、文化発生、文化的言語、民族文 化と国民文化の違い、東洋文化と西洋文化の違い、文化進展の原理などを理解できる。		
評価方法：中間テスト、期末試験、学年末試験		
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1	ガイダンス。	
2	【入門】東洋の「文化」と西洋の「Cultus」。文化の定義とその主要タイプ、集団労働と文化 発生。文化の機能と形態、主体と客体、文化と文明の定義。	
3	【時間と空間における文化】文化的言語の主要単位である「記号体系」。記号の定義と記号体系 の主要類（自然記号、コンベンショナル記号、口頭記号、文字記号）	
4～5	【文化の発生と進展原理】文化進展の不規則性。原始文化の部族分離と古代・中世文化の社会 内分離。農民文化、文化と信仰（宗教）、都市化と中世の終わり。近代における文化の分離。文 化発展の転換期。文化普及の原理。	
6	【芸術】芸術の定義と分類。芸術発生の四論（生物論、ゲーム論、信仰論、労働論）。芸術進展 の総合傾向。	
7	【文化史の科目】民族文化の進歩要因。「地理的決定論」の欠点。各時代における人間と環境の 関係。各時代における文化進展傾向（発生→学習→保守→革新）。文化の後継と転換期。	
8	【ロシア文化史の概要】ロシア文化の6時代。世界におけるロシア文化の位置づけ。	
9～11	【スラブ文化】スラブ文化の起源。スラブに関する最小情報源。インド・ヨーロッパ語族にお けるスラブの位置づけ。ロシア文化発生に関する論議（ノルマン論、スラブ論、南北論）。スラ ブ民族の現代区分、東スラブの部族。ロシア文化の二首都（キエフとノヴゴロド）。古代スラ ブの芸術。スラブの隣民族。	
12	【スラブとロシアの神話】多文化から生まれたスラブ神話。神話の進化。スラブ神話に関する 古代ロシアとヨーロッパの記録。二重信仰、ロシア民話やおとぎ話に見られる神話の痕跡。	
13～14	【スラブと霊界】神話の主要類（宇宙発生、宇宙構造・英雄）。スラブによる「心、魂」の考え 方。鳥と関連する伝統と迷信。宇宙観と生死観、死と社会。葬儀と供養、祖先崇拜。霊界との 関わり。「世界大樹」の神話。ロシア民族衣装と民家に見られる宇宙のシンボリズム。	
15～16	【キリスト教】古代「新興宗教」の発生（仏教・キリスト教・イスラム教の登場）、その共通点 と違い。キリスト教の内容、土着信仰の世界観と宗教。宗教の老化、文化と宗教。 「バイブル界」と「ヴェーダ界」。ロシアへのキリスト教伝来とその歴史的な意義。キリスト教 伝来とロシア社会。	

後期	
回	内 容
1～3	【ロシアキリスト教の歴史】西欧と東方キリスト教の違い。モンゴル襲来以前の教会。モンゴル支配と教会。ニコン総主教による改革と教会分離。ロシアの聖人たち。ピョートル大帝時代の教会。19世紀の教会。ソ連時代の教会対策とソ連崩壊後の宗教状況。
4	【キエフ・ロシアの建築】ビザンツ文化の影響。『過ぎし歳月の物語』。キリスト教聖堂の構造とシンボリズム。『デジャチンナヤ教会』と聖ソフィア大聖堂。ノヴゴロドとプスコフ建築の特徴。
5	【ウラジミル時代の建築】建築様式と建築材の変化。二重信仰とゴシック様式の影響。ウスペンスキー大聖堂、ディミトリー大聖堂、金門、ボコリューボヴォ町、ポクロフ教会など。ウラジミル文化の結末。
6	【モスクワの建築】新首都モスクワの再建設。クレムリン教会群とその創造者。17世紀モスクワの新建築様式、『天幕形教会』。新エルサレム、コロメンスコエ村、聖ワシリー大聖堂。
7	【ロシアのイコン絵画】イコンの起源。ロシアにおけるイコン崇拝の意義と特徴。イコンのシンボリズム。『ウラジミル聖母』のイコン。テオファネスとアンドレイ・ルブリョーフ。
8	【後期中世時代のロシア美術】ディオニシウスの創作活動。16～17世紀イコン絵画の変化。『騒ぐ壁画』、シモン・ウシャコフの絵画論と創作活動。「パルスーナ」の登場。17世紀の応用芸術。当時のロシア美術が直面した問題。古代ロシア文化の結末。
9～10	【ピョートル1世とロシア文化】ピョートルの即位と改革。民間学校、科学アカデミーの創立。宗教改革と総主教の解任。「民間文字」の登場。科学研究と社会思想の発展。
11	【ロシア帝国の都市建築】18世紀前半の建築計画。ペテルブルグの創始、ペトロパウロ洋裁、クンストカメラ資料館。バロック様式の登場、ラストレリ。ピョートル宮殿、エカテリーナ宮殿、冬宮、スモリニー修道院。モスクワの建築派。
12	【新古典様式】18世紀ロシア社会の美観変更、古代ギリシャ・ローマ文化への関心。地方文化中心となった貴族屋敷。モスクワとペテルブルグの新建築。V・バジェノフ、M・カザコフ、J・クワレンギ、C・キャメロン。
13	【19世紀初期のロシア建築】宮殿から公舎へ。中央取引所と海軍省。A・ボロニヒンによるカザンスキー大聖堂、鉱山大学。K・ロッシによる新建築観。ロシアの「帝国様式」。O・モンフェラン、「大様式」の最後の作品であるイサク大聖堂。
14	【19世紀のモスクワ】ナポレオン戦争後のモスクワ再建設。赤の広場の新風景。劇場広場、屋敷建築。D・ジラルディーによるモスクワ大学新館。新古典様式と彫刻。ファルコネ、マルトス、シュービン。
15	【非宗教絵画の始まり】ロシア絵画における肖像画の中心的な役割、I・ニキチン、奴隷画家たち。1760年代に栄える絵画。三人大家：ローコトフ、レビツキー、ボロヴィコフスキー。キプレンスキーとトロピニン。ナポレオンからの勝利と芸術の栄え。便額と絵画の相互影響。K・ブリュロフによる「ポンペイの最後の日」。A・ベネチアノフ、I・アイワゾフスキー。写実主義の始まり。
16	【イワノフとフェドトフ】絵画の「アカデミー派」。スラブ主義思想と西洋主義思想の影響。A・イワノフの創作活動。『民衆の前に現れるイエス』と新たな宗教観。P・フェドトフの生涯、芸術への道。絵画による社会批判とヒューマニズム宣伝。「フェドトフ派」の発生。
17	【19世紀後期の文化】1861年農奴隷解放とその結果。インテリゲンチアとプロレタリア。フェドトフ派と批判的写実主義の復活。V・ペロフによる絵画遺産。赤の広場の完成、「偽ロシア様式」。伝統文化の復活とロシア音楽界。
18	【1860年代の絵画】イワン・クラムスコイと14人の反乱、移動展協会の創立。「イワノフ派」を受け継いだN・ゲー。V・ベレシヤギンによる戦闘画。V・ポレノフの風景画。
19～20	【19世紀終期の絵画】ロシア大画家I・レーピンとV・セローフ。歴史派の発展：V・スリコフとV・ヴァスネツォフ。レビタンの風景画。新芸術の使者ミハイル・ヴルーベリ。

教科名	日ロ関係史（前・後期）	
学年・学科名	第1学年 ロシア地域学科 ロシア語科	【担当教員】倉田 有佳
時間数・期間	前期16週2時間・32時間 後期20週2時間・40時間 総72時間	
教科書など	使用しない。	
補助教材・参考書など	適当な参考図書や論文を授業に合わせて説明する。	
学習到達目標：	函館は、日本とロシアの交流の発祥の地であり、現在もロシアとの交流が活発に行われているため、日ロ関係史を学ぶにあたり、まずは函館とロシアの交流史を学ぶ。ロシアと日本（北海道）の関係、さらには日ロ（日ソ）関係に目を向けることにより、過去と現在における人間と地域の諸問題を国際社会の多様な歴史的背景において考察できる能力を身に付けることを目標とする。	
学習上の留意点：教室での授業以外にも、屋外授業をおこなうほか、当時の記録映像等視聴覚教材等を使用するため、授業に必ず出席すること。		
評価方法：出席（30%）授業態度（20%）試験（50%）		
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1	ガイダンス	
2	函館とロシアの交流 1	
3	函館とロシアの交流 2	
4	学生発表①	
5	学生発表②	
6	函館とロシア 散策 ①	
7	映画「幕末のスパシーゴ」観賞	
8	函館とロシア 散策 ②	
9	函館とロシアの交流 3	
10	ロシア極東から北海道に避難・亡命したロシア（ソ連）の歴史	
11	ソ連時代の函館とソ連の経済・文化交流、「市民の船」事業鑑賞	
12	現代の在日ロシア人	
13	函館とロシア語	
14	新聞記事から読み解く最近のロシア極東との交流	
15	復習	
16	まとめ	

後期	
回	内 容
1	夏休みの課題 プレゼンテーション①
2	夏休みの課題 プレゼンテーション②
3	江戸時代ロシアに漂着した日本人
4	樺太問題と日露交渉－日露雑居地樺太～樺太・千島交換条約締結へ
5	日露戦争前後の流刑地サハリン
6	日露戦争：弘前ロシア人捕虜収容所
7	20世紀前半のサハリンの歴史
8	第二次世界大戦と日ソ関係：サハリンに残された人たち
9	20世紀初頭のロシア極東と日本人居留民社会：ニコラエフスク・ウラジオストク
10	20世紀初頭のロシア極東と日本人居留民社会（映像鑑賞）
11	国境に生きる人々：人的交流と経済交流
12	ロシアから日本へ避難・亡命の歴史
13	来日ロシア人の文化的・社会的軌跡
14	第二次世界大戦と日ソ関係：シベリア抑留
15	戦後の日ソ関係－樺太からの引揚港となった函館・シベリアからの引揚港となった舞鶴
16	第二次世界大戦後の日ソ関係：「ジョバンニの島」
17	第二次世界大戦後の日ソ関係：「ジョバンニの島」
18	新聞報道から読み解く最近の日ロ関係
19	復習
20	まとめ

教科名	体育（前・後期）		
学年・学科名	第1学年 ロシア語科（選択科目） ロシア地域学科	【担当教員】高橋 厚一	
時間数・期間	前期16週 2時間・32時間	後期20週 2時間・40時間	総72時間
教科書など	使用しない		
補助教材・参考書など	縄跳び使用各自用意		
学習到達目標：運動の計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を伸長する。			
学習上の留意点：特になし			
評価方法：出席（50%）授業態度（40%）試験（10%）			
授業項目			
前期			
回	内 容	回	内 容
1	オリエンテーション、体づくりの運動①	9	バスケットボール（ゴール型）①
2	体づくりの運動②	10	バスケットボール（ゴール型）②
3	陸上運動（持久走）①	11	バスケットボール（ゴール型）③
4	陸上運動（持久走）②	12	バスケットボール（ゴール型）④
5	バレーボール（ネット型）①	13	バトミントン・テニス（ネット型）①
6	バレーボール（ネット型）②	14	バトミントン・テニス（ネット型）②
7	バレーボール（ネット型）③	15	バトミントン・テニス（ネット型）③
8	バレーボール（ネット型）④	16	実技試験
後期			
回	内 容	回	内 容
1	オリエンテーション、体づくりの運動③	11	ダンス（表現）②
2	体づくりの運動④	12	ダンス（表現）③
3	陸上運動（持久走）③	13	バレーボール（ネット型）⑤
4	陸上運動（持久走）④	14	バレーボール（ネット型）⑥
5	バスケットボール（ゴール型）⑤	15	バレーボール（ネット型）⑦
6	バスケットボール（ゴール型）⑥	16	体づくりの運動⑤（アイススケート）
7	バスケットボール（ゴール型）⑦	17	体づくりの運動⑥（アイススケート）
8	バトミントン・テニス（ネット型）③	18	体づくりの運動⑦（アイススケート）
9	バトミントン・テニス（ネット型）④	19	体づくりの運動⑧（アイススケート）
10	ダンス（表現）①	20	まとめ・実技試験

教科名	ロシア地理(前期)	
学年・学科名	第1学年 ロシア地域学科 ロシア語科	【担当教員】 グラチェンコフ・アンドレイ
時間数・期間	前期16週 2時間・32時間	総32時間
教科書など	なし	
補助教材・参考書など	配布プリントあり。その他にパワーポイントを使用。	
学習到達目標：	この講義の目標は、ロシアの地図を素材として、地理学的な考え方を学ぶことである。ロシアは、北方に位置するユーラシア大陸国で、豊かな資源と激しい自然、ロシア人と非常に多い少数民族を含む多民族国家である。授業では、自然、資源、民族、文化、などのさまざまな面を扱うが、ロシアの中で気候や経済地域をみることで、新たな発見をしてほしい。	
学習上の留意点：授業は特定の教科書を使用せずに講義方式を進めます。理解を助けるために板書を多く用いますが、更にパワーポイント等の視覚教材で説明を補います。また、各項目が終わるごとに重要事項と語彙をまとめたプリントを配布します。質問は授業中でも授業後でも受け付けます。授業への積極的な参加を期待します。		
評価方法：期末に行う筆記試験の結果と出席状況を総合して評価します。筆記試験には自作ノートと配布プリントの持ち込みを可とします。日頃の講義を真面目に受けていれば不合格を心配する必要はありません。		
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1	イントロダクション	
2	ロシアの概観：ロシア地理的地位、国土の面積、海岸線：主な海と湾	
3	ロシア地理的条件1：地形条件：山地と平原	
4	ロシア地理的条件2：主な河川と湖	
5	ロシア地理的条件3：気候条件：気温と雨量、主な気候ゾーン	
6	ロシア地理的条件4：土壌条件：チェルノジョム地とポドゾル地の分布	
7	ロシア天然資源1：エネルギー資源、埋蔵量と主な炭田、油田、ガス田	
8	ロシア天然資源2：鉱物資源、埋蔵量と主な鉱床と鉱山	
9	ロシア天然資源3：森林資源 針葉森林の分布と伐採量	
10	ロシア天然資源4：海産資源 主な漁労地域と魚捕獲量の推移	
11	ロシア天然資源5：水源：消費量と河川流量間アンバランス	
12	ロシア人口1：人口の民族構成と宗教構造、民族問題と独立運動	
13	ロシア人口2：人口の分布と平均密度、人口の社会移動	
14	ロシア人口3：人口の移動 自然増加率：出生率と死亡率移動	
15	ロシア人口4：人口ピラミッド 高齢化・少子化問題	
16	ロシア人口5：労働力人口：職業人口と失業	

教科名	ロシア語コンピュータ環境入門（前期）	
学年・学科名	第1学年 ロシア地域学科 ロシア語科	【担当教員】 デルカーチ・フォードル
時間数・期間	前期16週2時間・32時間 総32時間	
教科書など	「office ソフトで作る文書ドリル全55題」NOA 出版	
補助教材 参考書など	プリント、ビデオ等	
<p>学習上の留意点：下記の点の確認を講義の最初に行う。</p> <p>コンピュータ用語を理解すること</p> <p>PC 本体の基本構造を分かること</p> <p>あらゆる記憶装置（ディスク・メディア）を利用できること。</p> <p>Windows XPの組織（ファイルとフォルダ、パス、アクセサリ等）を知り、使用できること。</p> <p>MSWORD を利用し、画像・表・グラフを含むドキュメントを作成できること。</p> <p>EXCEL の基本操作をできること。</p>		
評価方法：テスト＝4時間／期末試験、学年末試験＝4時間		
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1～3	<p>【ロシア語のキーボードレイアウト】</p> <p>ロシア語の文字で日本語表示をする基準。</p> <p>間違いやすい文字。キリル文字入力練習。</p> <p>聞き取りドリル。</p>	
4～12	<p>【ロシア語の入力】</p> <p>ロシア語の文書の複写練習。</p> <p>聞き取りドリル。</p> <p>ロシア語の句読点に入力規則。</p> <p>一般的に利用される書体、行間、余白など。</p> <p>日本語とロシア語を共に使うのに必要なコツ。</p> <p>ロシア語でレポートを作成する基準。</p>	
13～16	<p>【ロシアのインターネットとコンピュータ用語】</p> <p>ロシアのインターネットとのコンピュータ用語</p> <p>ロシアで最も人気のあるニュース、検索、情報のサイト・</p> <p>ソーシャルネットワーク</p> <p>ロシア語の情報を探す方法</p> <p>まとめ</p>	

教科名	法学入門（前期）	
学年・学科名	第1学年 ロシア語科（選択科目） ロシア地域学科	【担当教員】 荒木 知恵
時間数・期間	前期8週 2時間・16時間 総16時間	
教科書など	なし	
補助教材・参考書など	なし	
学習到達目標：	論理的思考が向上し、様々な利益の考慮ができるようになる。 日常的に生じうる法律問題について基礎的知識を身に着ける。	
学習上の留意点：	常に対立利益の存在に留意する。	
評価方法：	出席（50%）授業態度（20%）試験（30%）	
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1	オリエンテーション	
2	民事裁判における事実認定と証拠①	
3	民事裁判における事実認定と証拠②	
4	消費者トラブルと法	
5	労働法—働く人の法知識	
6	刑事模擬裁判①	
7	刑事模擬裁判②	
8	筆記試験	

教科名	ゼミナール「貿易実務」(前期)	
学年・学科名	第1学年 ロシア地域学科 ロシア語科	【担当教員】高月 晋
時間数・期間	前期16週 2時間・32時間 総32時間	
教科書など	貿易の英語 羽田三郎著 森出版KK	
補助教材・参考書など	特になし	
学習到達目標:	貿易立国である日本国の、経済原点である貿易を教授者の商社マンとしての経歴を生かして、実務を身につけさせたい。	
学習上の留意点:		
評価方法:	出席 (20 %) 授業態度 (30 %) 試験 (50 %)	
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1	ガイダンス	
2	取引先の発見	
3	取引関係の樹立	
4	売買契約の樹立	
5	売買契約の履行	
6	信用照会と回答	
7	取引申し込み	
8	取引申し込みの応答	
9	引合 Inquiry	
10	オファー Offer	
11	注文 Order	
12	信用状 Letter of Credit	
13	苦情と求償 Claims and Solution	
14	法的文書	
15	予備	
16	予備	

科名	ロシア語講読（後期）	
学年・学科名	第1学年 ロシア地域学科 ロシア語科	【担当教員】鳥飼 やよい
時間数・期間	後期20週2時間・40時間 総40時間	
教科書など	S・コーネワ「実用ロシア語講読書」	
補助教材・参考書など	なし	
学習到達目標：	既習の露文法の基礎に裏付けされた文章読解の力を養う。文の構造を見分け、分析的に翻訳し、読むことで最大限の情報を抽出できるようになる。露語独特の句読点や動詞のアスペクトのニュアンスを学ぶ。音読、目読のスピードアップも目指す。	
<p>学習上の留意点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業は予習（語彙、翻訳）を前提として行う。 ・予習においては黙読に加え音読も必ず行うこと。 ・課ごとに語彙・表現のテストを行う。 ・各課終了後、各ストーリーを完全な日本語に翻訳して提出すること。 ・3課終了ごとに、習熟度確認の小テストを行う。 		
評価方法：3話ごと的小テストと学期末試験の結果の他に出席、宿題、課題の総合的評価とする。		
授 業 項 目		
後 期		
回	内 容	
1～2	第1課「もうすぐ新学期」	
3～4	第2課「ママとサッカー」	
5～6	第3課「母」 テスト1	
7～8	第4課「催眠術」	
9～10	第5課「大切な話」	
11～12	第6課「難しい試験」 テスト2	
13～14	第7課「保養地」	
15～17	第8課「祖母とボーフカ」	
18～19	第9課「第2の青春」	
20	学期末試験	

教科名	論文作成（後期）	
学年・学科名	第1学年 ロシア地域学科 ロシア語科	【担当教員】倉田 有佳
時間数・期間	後期20週2時間・40時間 総40時間	
教科書など	なし。	
補助教材・参考書など	ガイドブック、参考図書や論文など、論文指導の中で適宜紹介する。	
学習到達目標：	論文作成の基礎を学び、その過程で、資料収集方法、課題解決能力やプレゼンテーション能力を身に付ける。	
学習上の留意点：論文作成に必要な基礎を学ぶため、授業に必ず出席すること。		
評価方法：論文評価（60%） 授業参加度（20%） 口頭試問（20%）		
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
4月	ガイダンス：学年レポートのテーマ発表、テーマの検討	
5月	ガイダンス：学年レポートのテーマ決定、事務局にテーマ提出	
1	論文の書き方①	
2	論文の書き方②	
3	論文の書き方③	
4	資料の収集	
5	資料の収集、文献目録作成	
6	文献目録完成	
7	学年レポート作成（章立て）	
8	学年レポート作成（序論検討）	
9	学年レポート作成（序論完成）	
10	学年レポート作成（本論検討）	
11	学年レポート作成（本論執筆）	
12	学年レポート作成（本論完成）	
13	学年レポート作成（結論検討）	
14	学年レポート作成（結論完成）	
15	学年レポート作成（注・参考文献）	
16	学年レポートの体裁を整える（表紙・ページ打ち・脚注・参考文献一覧の作成）	
17	学年レポート完成	
18	学年レポート最終チェック、印刷	
19	学年レポート完成、授業終了後事務局に提出	